

2019年4月26日
株式会社日本政策金融公庫

農業景況調査：外国人技能実習生

**担い手農業者の11%が外国人技能実習生を受け入れ
～ 受け入れにあたっての課題は「実習生の日本語の能力」～**

< 農業景況調査関連（平成31年1月調査） >

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）農林水産事業は、融資先の担い手農業者^(※)を対象に実施した「農業景況調査（平成31年1月調査）」において、外国人技能実習生の受入状況を調査しました。

※ 認定農業者の経営改善を後押しするスーパーL資金又は新たな取組みを支援する農業改良資金のご融資先

本調査において、担い手農業者の11.1%が外国人技能実習生（以下実習生）を受け入れていることがわかりました。また、今後の実習生の受入希望については、実習生の受入れを「増やしたい」（45.9%）が半数弱を占め、受入れを「減らしたい」（4.6%）を大きく上回りました。

調査結果のポイントは以下のとおりです。

<調査結果のポイント>**○ 売上規模が大きい経営体ほど実習生を受け入れている傾向（図1-3）**

外国人技能実習生を受け入れているか聞いたところ、「受け入れている」と回答した割合は全体の11.1%となり、「個人」（6.5%）より「法人」（20.6%）、「耕種」（8.4%）より「畜産」（20.2%）の割合が高くなっています。また、売上規模が大きい経営体ほど実習生を受け入れている傾向にあることもわかります。

経営体あたりの実習生の受入人数も「個人」より「法人」で多く、売上規模が大きい経営体ほど多くの実習生を受け入れている傾向がみられます。

また、今後の実習生の受入れについては、「増やしたい」（45.9%）が「減らしたい」（4.6%）を大きく上回り、実習生の受入れに対して需要が高いことがうかがえます。

○ 実習生受入れの課題は「実習生の日本語の能力」が最多（図4）

実習生を受け入れる際の課題について聞いたところ、「実習生の日本語の能力」（64.3%）が最多となり、実習生を受け入れる担い手農業者は、円滑な意思疎通を重要視していることが伺えます。次いで、「宿舍整備」（53.3%）、「技術水準に応じた賃金水準の確保」（34.1%）の順となり、実習生の雇用環境を整えることに課題があることも伺えます。

○ 実習生の国籍はベトナムが最多（図5-6）

担い手農業者が受け入れている実習生の国籍について聞いたところ、「ベトナム」（38.9%）が最多となり、次いで「中国」（21.3%）、「フィリピン」（11.2%）、「インドネシア」（7.3%）となりました。

農業以外の職種も含めた全職種における外国人技能実習生の国籍別の構成（図6）と比べると、中国の割合が低くなっています。

調査時期 平成31年1月

調査方法 往復はがきによる郵送アンケート調査

調査対象 スーパーL資金又は農業改良資金のご融資先のうち19,925先

有効回答数 6,129先（回収率：30.8%）

稲作（北海道）：681、稲作（都府県）：1,527、畑作：574、露地野菜：533、
施設野菜：495、茶：124、果樹：326、施設花き：146、きのこ：81、
酪農（北海道）：229、酪農（都府県）：246、肉用牛：425、養豚：210、
採卵鶏：129、ブロイラー：69、その他：334

図1 外国人実習生を受け入れていますか

	受け入れている
全体	11.1%
個人	6.5%
法人	20.6%
耕種	8.4%
畜産	20.2%

[売上規模別] 実習生の受入割合

	受け入れている
1億円以上	31.3%
3000万円以上 1億円未満	10.5%
3000万円未満	2.0%

図2 (受け入れている方)何人受入をしていますか

	1人	2人	3~5人	6~10人	11人以上
全体	11.4%	20.8%	36.2%	24.0%	7.6%
個人	19.7%	26.4%	42.0%	11.2%	0.7%
法人	6.0%	17.1%	32.4%	32.4%	12.1%
耕種	10.5%	20.8%	38.6%	24.2%	5.9%
畜産	13.2%	20.7%	33.9%	24.3%	7.9%

[売上規模別] 実習生の受入人数

	1人	2人	3~5人	6~10人	11人以上
1億円以上	6.1%	16.5%	32.2%	32.7%	12.5%
3000万円以上 1億円未満	15.7%	26.0%	45.7%	12.1%	0.4%
3000万円未満	34.0%	32.1%	26.4%	7.5%	0.0%

図3 今後、外国人技能実習生の受入れはどのようにしたいですか

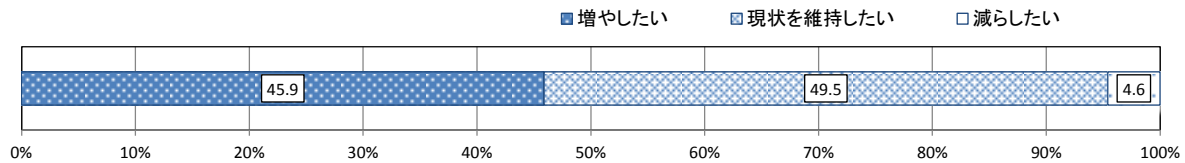


図4 実習生を受け入れる際の課題はなんですか。(複数回答可)

	実習生の日本語の能力	宿舎整備	技術水準に応じた賃金水準の確保	休暇等の労働条件	近隣住民の理解
全体	64.3%	53.3%	34.1%	24.5%	15.2%
個人	65.4%	55.6%	38.4%	27.6%	15.7%
法人	63.4%	51.3%	30.3%	21.8%	14.8%
耕種	63.1%	56.6%	38.2%	23.8%	18.4%
畜産	66.9%	46.6%	27.1%	26.0%	9.9%

[売上規模別] 実習生の受け入れにあたっての課題

	実習生の日本語の能力	宿舎整備	技術水準に応じた賃金水準の確保	休暇等の労働条件	近隣住民の理解
1億円以上	63.3%	48.7%	30.4%	23.7%	11.5%
3000万円以上 1億円未満	65.4%	56.2%	37.6%	28.6%	15.9%
3000万円未満	64.9%	59.6%	37.0%	19.2%	23.1%

図5 受け入れている実習生の国籍は

	中国	ベトナム	フィリピン	インドネシア	タイ	ミャンマー	ネパール	インド	その他
全体	21.3%	38.9%	11.2%	7.3%	3.1%	1.9%	0.6%	0.6%	15.1%
個人	25.2%	28.3%	11.9%	8.8%	3.6%	1.5%	0.3%	0.3%	20.1%
法人	18.8%	45.6%	10.8%	6.4%	2.7%	2.1%	0.8%	0.8%	12.0%
耕種	21.8%	36.3%	10.8%	5.9%	3.1%	1.4%	0.4%	0.2%	20.2%
畜産	20.4%	42.0%	12.1%	9.5%	3.3%	2.4%	0.9%	1.2%	8.3%

図6 全職種と農業との比較

	中国	ベトナム	フィリピン	インドネシア	タイ	その他
農業	21.3%	38.9%	11.2%	7.3%	3.1%	18.2%
全職種	35.4%	38.6%	9.9%	8.2%	3.2%	4.7%

※出典「平成28年末 在留資格「技能実習」総在留外国人国籍別構成比」